

2010 年 7 月 12 日

シリコンスタジオ、映像通信の 新設オンラインスタジオ向けに EditShare Storage サーバシステムを納入 ～FCP 環境で共有コラボレーションワークフローを構築～

エンターテインメント業界向けにデジタルコンテンツ関連ビジネスを展開しております、シリコンスタジオ株式会社（代表取締役社長 寺田健彦、本社 渋谷区恵比寿、電話 03-5488-7070(代表)）(以下、シリコンスタジオ)は、株式会社インファス・ドット・コム映像通信事業部(以下、映像通信)が新たにオープンしたオンラインスタジオ向けに、米 EditShare(エディット・シェア)社製のシェアード・ストレージサーバ「Storage シリーズ」を納入したことを発表します。

映像通信は、ミュージックビデオ・CM・イベント映像・企業 VP・テレビ番組など、多種多様な映像編集を手掛けるポストプロダクションスタジオです。

当スタジオには、ノンリニア編集室が 4 室、リニア編集室が 1 室、MA スタジオが 3 室に、Apple FinalCutPro(FCP)ワークルームやダビング、デザインルームが設けられています。映像通信では、新しいオンラインスタジオとして、MacPro で構成する「FCP Red」および「FCP Black」の 2 部屋を開設する際に、革新的な共有コラボレーションワークフローを実現するため、EditShare のソリューションを選択しました。

Storage シリーズは、EditShare 社の製品の中で最も販売実績数のあるモデルです。映像編集用各種アプリケーションから共有のワークサーバとして使うためのツールが搭載され、編集プロダクション環境に最適なコストパフォーマンスで、拡張性に優れた、Ethernet ベースの NAS 共有ストレージソリューションです。FCP はもとより、Avid®、Edius、Premire、Vegas など、あらゆるノンリニア環境をサポートしています。メーカー側の強い製品への自信として、NAS ベースの共有サーバシステムにおいて構成毎にストリーム数を保証しています。

今回、新設オンラインスタジオ向けに納入した Storage システムは、40TB 容量のシステムで構成され、「FCP Red」および「FCP Black」にある各 4 台の MacPro の FCP 編集システムで使用するコンテンツを収める共有サーバとして、ネットワーク上の各システムと接続されています。

「今回の新編集システムは、1 室に複数の編集マシンを配し、効率的な共同作業が可能である事を目指しました。編集マシンは Final Cut Pro や ProRes コーデックの有用性から、Mac Pro を選択し、1 室に 4 台配置することにしました。そして最終的には、同コンセプトのスタジオを 2 室、合計 8 台の Mac Pro が導入される事が決定しました。」と、株式会社インファス・ドット・コム映像通信事業部エディティングスーパーバイザーの山本龍次氏は、導入された経緯を語っております。

「次の問題は、共同作業に不可欠な素材共有、プロジェクト共有をどうするかでした。共有ストレージの条件は、HD 解像度の ProRes422HQ が 1 台の編集端末につき 2 ストリーム走る事、8 台全部が同時にキャプチャー作業をしても問題が無い事などでした。この条件に対応できると即答してもらえたのが、今回採用した EditShare でした。更に EditShare は、ギガビットイーサネットを接続するだけの簡便さ、クライアント数に応じたライセンス料が不要で何台でも接続可能な事、他製品には無い Final Cut プロジェクトの共有が可能な事などの優位性があり、現時点でのベストの選択であると確信しています。他社製品との比較でも、ここまでビデオ編集に特化されている製品は存在しないと判断しました。」

新設オンラインスタジオでは、FCP のほかに MacPro に搭載されている Motion、Color や Adobe AfterEffects といった映像編集ツールにより様々な編集がフレキシブルに行える上、複数台の編集システムで並行作業ができる共有コラボレーションワークフローを実現します。「FCP Red」および「FCP Black」は、2010 年 6 月 10 日よりサービスが開始され、オープン以降も各方面から大きな反響を得ています。

EditShare 社では、本年 NAB2010 にて製品ラインアップを一新し、また Geevs、LightWorks を買収によって製品ラインの強化を果たし、素材のインジェストからデータ変換、編集、保存、アーカイブからプレアウトまで放送、番組制作に関わるプロセスをワンストップで提供できるようにしました。独自のプロジェクト共有機能、メディアデータの共有を可能にする Universal Media Format や柔軟な拡張性を提供する Extreme Scalable Architecture など、強力な機能を継承しつつ新たな製品ラインを加えることにより、より一層ユーザーニーズに的確に対応できるメーカーとして今後の製品ラインの強化を進めています。

シリコンスタジオはこれら強力なソリューションを中心に、より細分化、高度化するファイルベースのプロダクション編集環境のインテグレーションから充実したアフターサポートまで、放送事業者のニーズに的確にお応えいたします。

###

■ インファス・ドット・コム/映像通信について

株式会社インファス・ドット・コムは、ポストプロダクション業務を行う「映像通信事業部」とファッション系映像を手掛ける映像制作事業部の 2 事業部で構成しています。「映像通信」はポストプロダクションと

して歴史が古く、映像技術の進化や様々なお客様の要求にきめ細かく対応しながら現在まで営業を行って参りました。スタジオのHD化も完了し、オフライン～オンライン～MAまでバラエティに富んだスタジオを擁し、多種多様な作品作りが可能となっています。また、今回新設した「FCP Black」「FCP Red」といった他社には無い独自サービスの提供で、お客様から大変好評を博しております。 今後は3D編集に取り組む予定もあり、さらなる進化を遂げていく「映像通信」にぜひご期待下さい。

■ シリコンスタジオ株式会社について

シリコンスタジオ株式会社(シリコンスタジオ)は、エンターテインメントの業界で、デジタルコンテンツに関する事業を幅広く展開するために2000年1月1日に設立されました。シリコンスタジオは2009年、新たなCIと共にエンターテインメントの一步先をいく『EnterNext』を掲げ、より積極的に、より発展的に、エンターテインメントの新たな可能性と価値を生みだしていきます。シリコンスタジオは、レンダリング技術の研究&開発、ゲームコンテンツ開発、コンテンツ制作環境やプロフェッショナル映像システムのインテグレーションとデジタルクリエイター派遣の4事業を中心に、業界最高峰の技術提供を行いながら、“創る人”、“愉しむ人”に感動を与えられる企業を目指しております。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先:

シリコンスタジオ株式会社
コーポレートパブリックリレーションズ
担当: 山下
E-Mail: pr@siliconstudio.co.jp
